

未来選択会議「第5回オープン・フォーラム」を開催

挑戦の象徴・スタートアップの振興を切り口に、マルチステークホルダーが議論

6月18日、「挑戦に満ちた日本への転換～スタートアップを起点に考える～」をテーマに、未来選択会議第5回オープン・フォーラムを開催した。

未来選択会議は、日本の将来を決定づける重要課題について、マルチステークホルダーが自由闊達な議論を行うために、経済同友会が2020年9月に発足させた会議である。社会の一線で活躍する各界若手リーダーとともに、目指す社会の姿を展望しながら議論を展開している。

日本が経済成長と社会課題の解決、人々の豊かさを追求していくためにはイノベーションの創出が欠かせない。そのため、あらゆる領域で挑戦者を増やし、挑戦に対する共感や応援を広げ、社会全体として「挑戦の総量」を高めることが重要ではないか——このような問題意識に基づいて、今回は、政府の成長戦略の柱として注目が集まるスタートアップの現状・課題を起点に議論を

行った。

当日は本会会員、スタートアップ経営者、若者団体代表、若手官僚、学識者、ベンチャー投資家、政治家など18人が議論に参加。約250人がオンラインで視聴した。

玉塚元一未来選択会議世話人の進行により、秋元里奈ビビットガーデン取締役社長、伊藤豊スローガン取締役社長、倉橋隆文SmartHR取締役・COO、坊垣佳奈マクアケ共同創業者・取締役の4人のスタートアップ経営者を中心に、本会会員、各務茂夫東京大学大学院教授、中村幸一郎Sozo Ventures共同創業者、今枝宗一郎衆議院議員（自由民主党スタートアップ推進議員連盟事務局長）などがそれぞれの経験、思いを披歴しながら意見交換を行った。



グローバルな慣行にそぐわない規制・制度、起業や挑戦が当然の選択となる環境の整備、失敗を許容する社会風土など、多岐にわたる課題が俎上に上り、山口明夫企業経営委員会委員長による「スタートアップ振興、挑戦に満ちた社会の実現において、国民皆が当事者」という総括をもって会議を締めくくった。

*本誌8・9月号(9月末発行)で抄録を掲載予定。

*過去の開催内容など未来選択会議の詳細については、経済同友会ホームページを参照。



No.850 July 2022 経済同友会 7

C O N T E N T S

特集1	
新任副代表幹事座談会	03
特集2	
アートラウンドテーブル東京2022	11
特集3	
2022年度(第37回)経済同友会 夏季セミナー 生活者共創社会の実現に向けて(前編)	17

CLOSE-UP 提言

社会保障委員会【提言】 日色保委員長 将来の選択肢に制約のない 社会の実現を目指し、 幅広い関係者の連携強化を	20
---	----

Doyukai Report

ラウンドテーブル・クロスリーチPT 若手経営者と先輩経営者の対話の場 「クロスリーチ」を始動	22
経済同友会インターンシップ推進協会 2022年度定時会員総会を開催	25

Seminar

第1352回 会員セミナー ウクライナ情勢の動向と今後の行方 廣瀬 陽子 氏 慶應義塾大学 総合政策学部 教授	27
---	----

Column

私の一文字 林 信秀 『異』Something different」	02
リレートーク 須田 将啓 「メンタルブロック」	26
私の思い出写真館 浦上 彰 「愛車とともに過ごした時間」	31
新入会員紹介	28
未来選択会議 「第5回オープン・フォーラム」を開催 挑戦の象徴・スタートアップの振興を切り口に、 マルチステークホルダーが議論	30